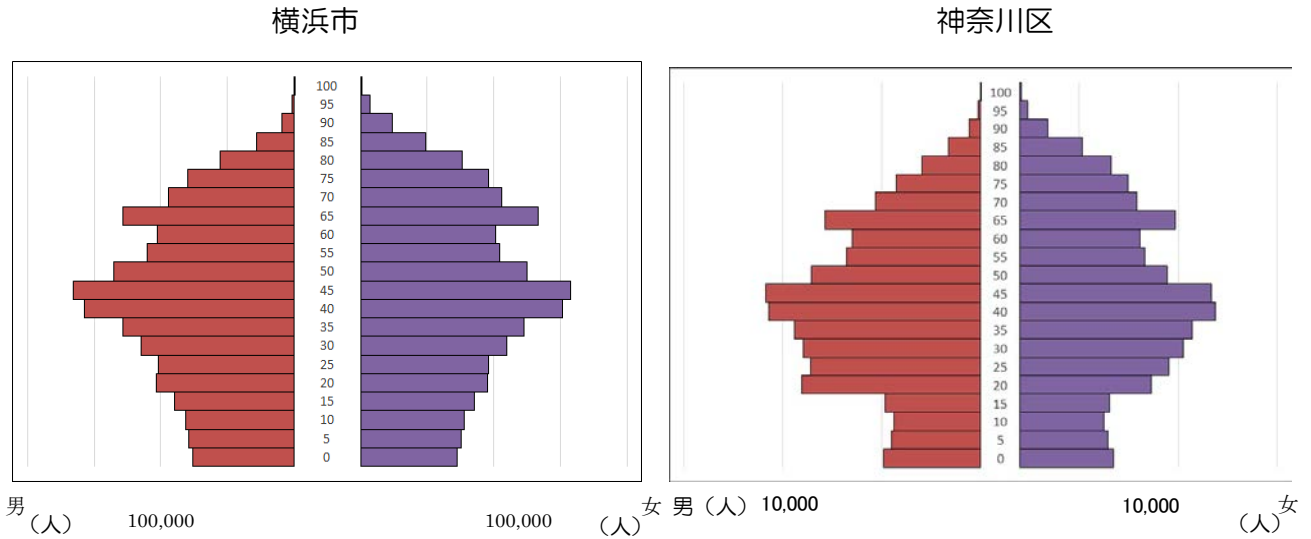


◆年代別人口データ

区別の人口ピラミッド（平成 28 年）

神奈川県は横浜市と比べて 20～30 歳代人口の比率が高い。

資料：「横浜市の人口 ～平成 28 年 1 月 1 日現在の年齢別人口～」より抜粋

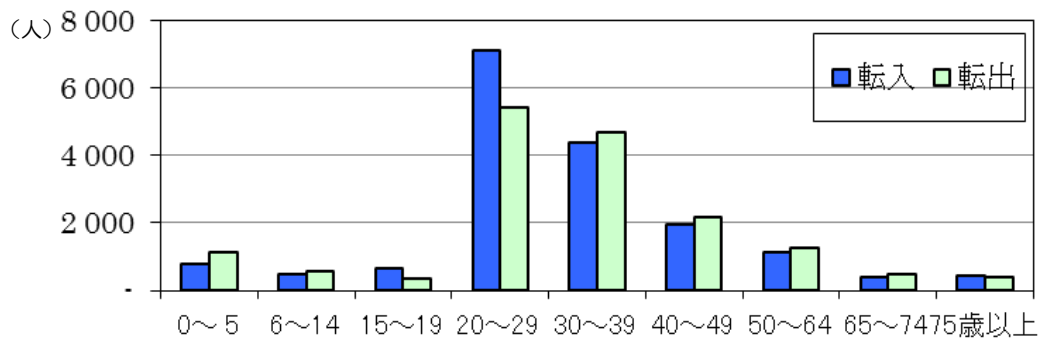


◆人口動態

神奈川県の人口移動（平成 28 年中）

20～30 歳代の移動が多い。20 歳代の転入割合は市内 1 位

資料：「横浜市の人口 ～平成 28 年中の人口動態と平成 29 年 1 月 1 日現在の年齢別人口～」より抜粋

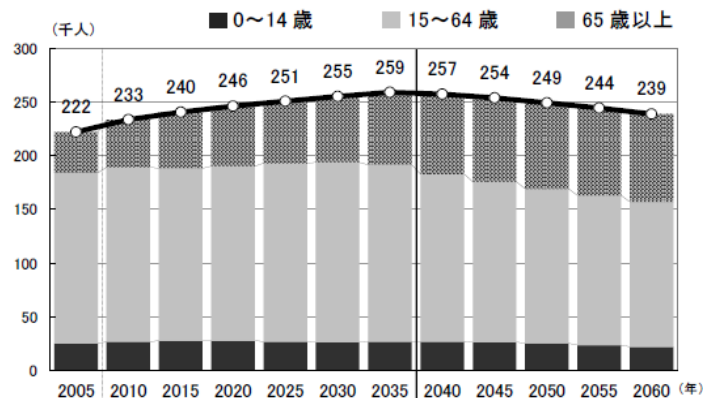


◆将来人口推計

神奈川県の将来人口推計

神奈川県の人口ピークは 2035 年、259 千人になる。（参考）横浜市の人口ピーク：2019 年、約 374 万人

資料：横浜市「将来人口推計」（平成 22 年）

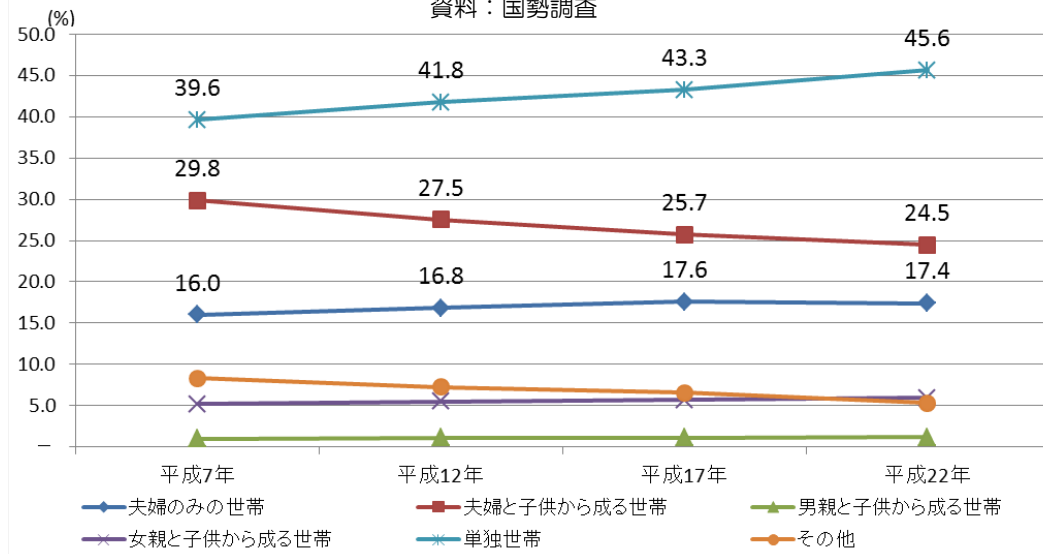


◆世帯構成の推移

神奈川区の家族類型別世帯数の推移（平成7年～22年）

単独世帯や夫婦のみの世帯が増加している。

資料：国勢調査

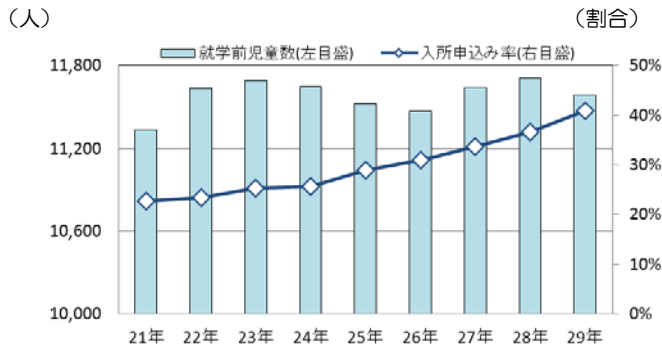


◆就学前児童数と保育所入所申込率

就学前児童数と保育所入所申込率の推移（平成21年～29年）

入所申込率は上昇傾向にあり、保育所ニーズの高さが伺える。

資料：神奈川県子ども家庭支援課（各年4月1日現在）

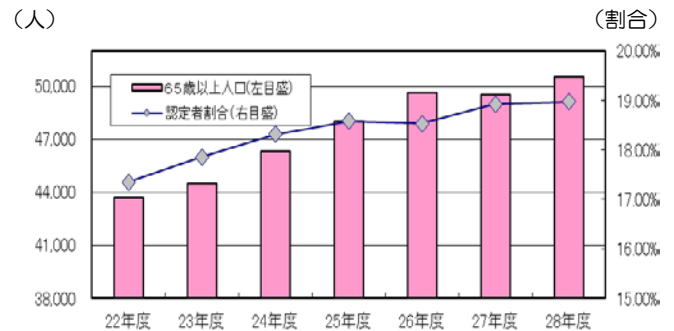


◆高齢者と要介護認定者割合

65歳以上人口とともに要介護認定者割合も

増加傾向にある。（平成22年度～28年度）

資料：市ホームページ「高齢者福祉の案内」（各年3月末現在）

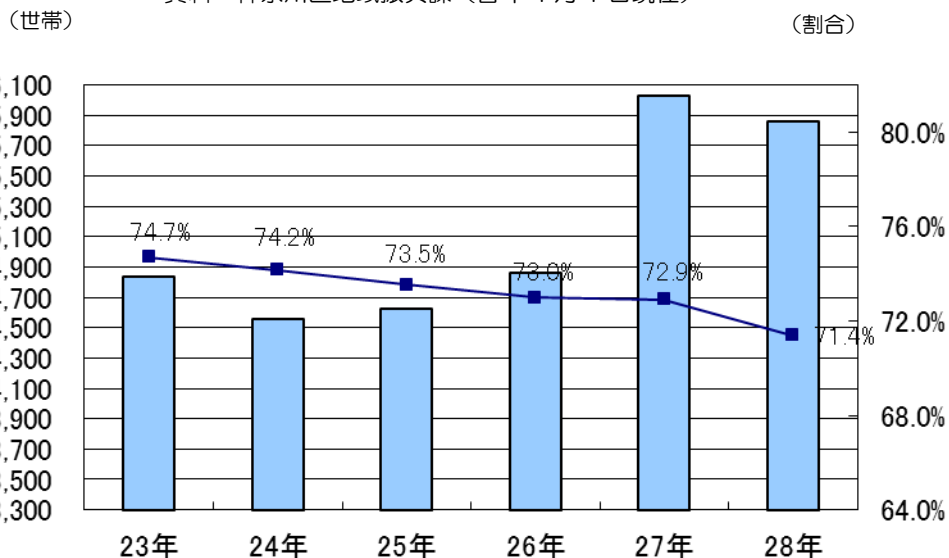


◆自治会町内会

自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移（平成23年～28年）

加入世帯数は24年度以降増加しているが、加入率は減少傾向にある。

資料：神奈川県地域振興課（各年4月1日現在）



◆地震被害想定

神奈川区では、密集した木造住宅地が多くあるため、揺れと火災による被害が他区に比べて多い。

【想定は平日 18 時】

		元禄型関東地震	東京湾北部地震	南海トラフ巨大地震
震 度		震度6弱～7	震度5弱～6強	震度5弱～5強
神奈川 区	揺れによる建物全半壊被害(棟)	11,462	2,781	144
	火災による焼失棟数(棟)	11,802	1,766	0
	建物の倒壊による死者(人)	154	15	0
	建物の倒壊による負傷者(人)	1,626	370	20
	火災による死者(人)	226	32	0
	火災による負傷者(人)	265	40	0
	避難者数(人)			
	1日後	58,870	20,439	9,848
	4日後	53,202	17,000	8,702
	1ヶ月後	38,713	8,209	5,773

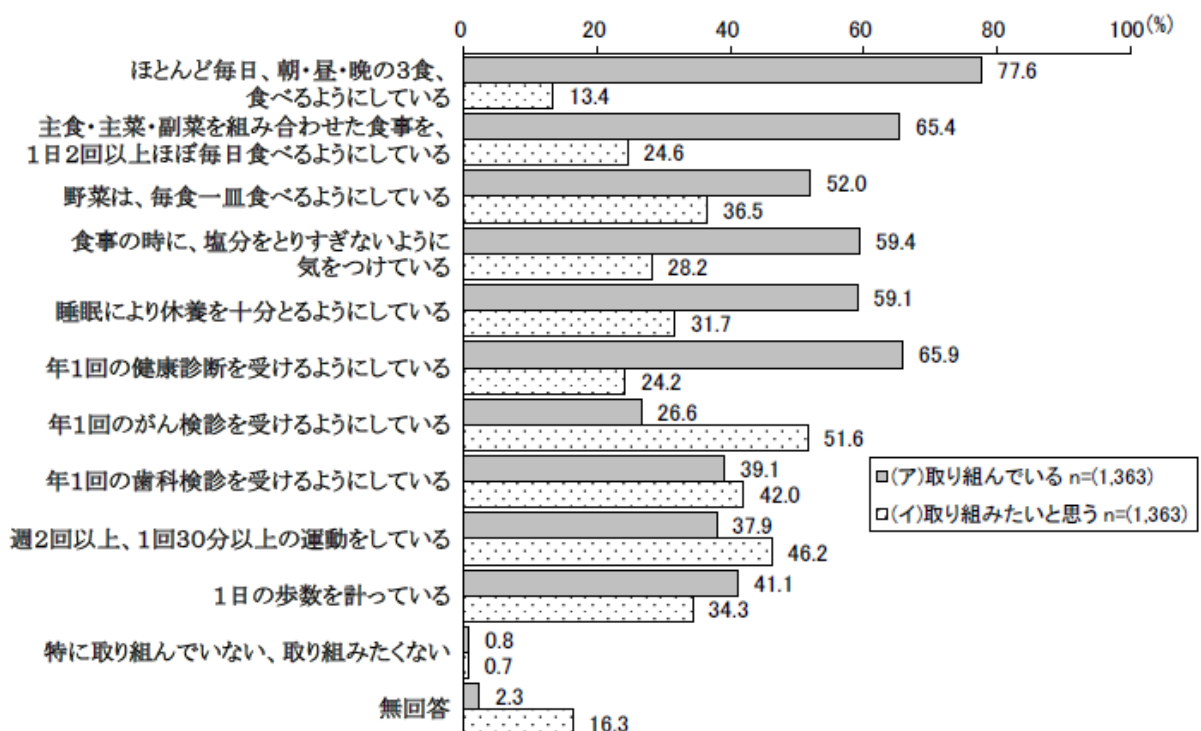
		元禄型関東地震	東京湾北部地震	南海トラフ巨大地震
震 度		震度5強～7 (市内広い範囲で震 度6強以上の揺れ)	震度4～6強	震度5弱～6弱
横浜 市	揺れによる建物全半壊被害(棟)	137,100	28,477	2,407
	火災による焼失棟数(棟)	77,654	13,035	5
	建物の倒壊による死者(人)	1,695	217	3
	建物の倒壊による負傷者(人)	19,913	4,463	347
	火災による死者(人)	1,548	242	0
	火災による負傷者(人)	1,778	331	0
	避難者(人)	577,307	233,966	100,411

(資料：横浜市地震被害想定調査報告書（平成 24 年度）)

◆健康のために取り組んでいること、取り組みたいこと

健康のために取り組みたいことは、「年1回のがん検診を受けるようにする」が 51.6%で最も高くなっている。次いで、「週2回以上、1回30分以上の運動をしている」が 46.2%、「年1回の歯科検診を受けるようにする」が 42.0%となっている。

図 健康のために取り組んでいること、取り組みたいこと [全体] (複数回答)

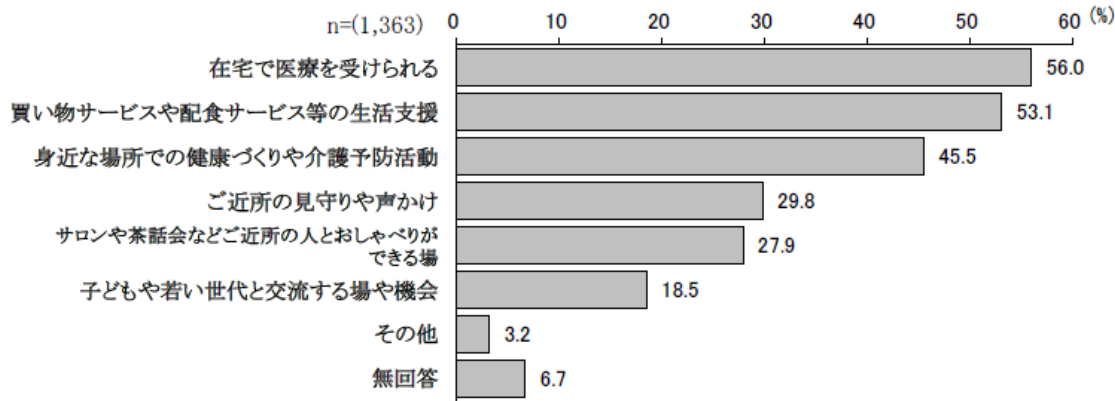


(資料：平成 28 年度神奈川区区民意識調査)

◆高齢期において受けてみたい支援（サービス）

高齢期において受けてみたい支援（サービス）は、「在宅で医療を受けられる」が56.0%で最も高く、次いで「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」が53.1%、以下「身近な場所での健康づくりや介護予防活動」が45.5%、「ご近所の見守りや声かけ」が29.8%、「サロンや茶話会などご近所の人とおしゃべりができる場」が27.9%、「子どもや若い世代と交流する場や機会」が18.5%となっている。

図 高齢期において受けてみたい支援（サービス）[全体]（複数回答）



◆神奈川区への定住意向推移

神奈川区に「住み続けたい」と「たぶん住み続ける」を合わせた定住意向は約80%となっており、市全体と比較すると定住意向が高い。また、区内の定住意向は増加傾向にある。

図 定住意向（横浜市調査との比較）

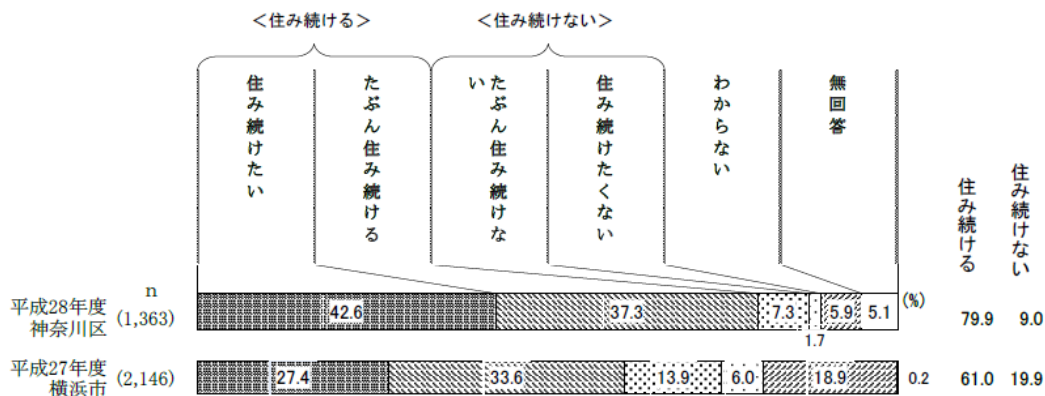
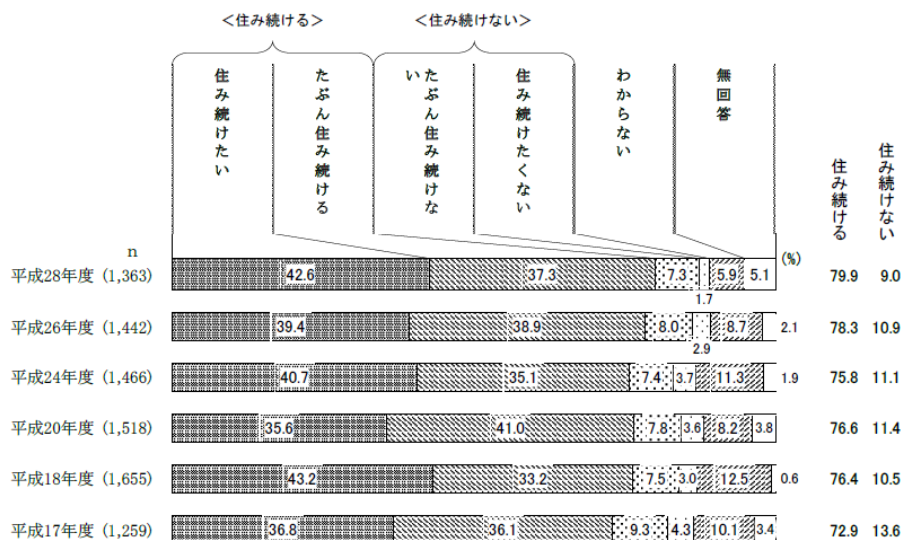


図 定住意向（過去の調査との比較）



（資料：神奈川区28年度区民意識調査）